

令和 5（2023）年 10 月 16 日
広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会
(TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会)

広島駅周辺地区の公開空間における社会実験の実施について

広島市、西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 西日本という。）、広島電鉄株式会社（以下、広島電鉄という。）は、令和 5（2023）年 9 月に、広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会（通称名：TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会）を組成し、10 月 21 日（土）より、広島駅のペDESTリアンデッキ・自由通路等において、同委員会による社会実験を開始することをお知らせします。

本社会実験を通じて、広島駅及び駅周辺地区の公開空間等を有効に利活用することで、同エリアを公共交通の結節点としてはもちろんのこと、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間にしていくこと目指します。



コンセプトスケッチ
(広島駅及びその周辺地区)

1. 広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会について

広島市、JR西日本、広島電鉄（以下、3者という。）が、令和4（2022）年9月26日に締結した「広島駅及びその周辺地区における公開空間の設定及び利活用に関する覚書^{（注1）}」に基づき、公開空間等の利活用を推進していく主体組織として、本年9月に、3者を構成委員とする「広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会」（以下、本委員会という。）を組成いたしました。

■ 通称名：TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会について

広島駅及び駅周辺地区における公開空間等を利用していくにあたっての活動指針として定めたのが「TOUCH MATCH HIROSHIMA」のロゴおよびスローガンです。



新しい広島駅は、行くたびに、通るたびに、
なにかに touch できて、なにかと match できる。
そこに行けばなにかがはじまる。
「たちまち」、広島駅に集いましょう

広島弁で“とりあえず”を意味する「たちまち」と、新たなモノ・コトに触れる「TOUCH」・人や文化が交わる「MATCH」をかけ合わせ、公開空間の利活用により、駅・まちの賑わいが相互に広がっていくことを想起させるデザイン・フレーズとして策定しました。

本委員会の通称名にも、この「TOUCH MATCH HIROSHIMA」を冠することで、「たちまち」行ってみたくなる魅力溢れる広島駅周辺地区を目指す、という思いを表しています。

2. 社会実験の概要

実施期間：令和5（2023）年10月21日（土）～11月30日（木）^{（注2）}

対象エリア：広島駅北口（新幹線口）ペDESTリアンデッキ及び南北自通通路

（対象エリアの詳細は5ページ目を参照ください）

実施内容：以下の通り、3つの賑わい・憩い空間を創出し、その効果を検証します。

(1) 沿道店舗などからの賑わいのしみ出し

ペDESTリアンデッキ及び南北自由通路上に、沿道店舗利用客向けのテーブル・チェア等を設置することで、店舗空間を公開空間へ拡張しさらなる賑わいを創出していきます。

(2) ベンチや緑などの高品質な憩い空間

緑に囲まれた大型ベンチや待合い利用に便利なスツール等を、ペDESTリアンデッキ及び南北自由通路に設置し、高品質な憩い空間を創出します。



テーブル・チェア設置スペース
(ペDESTリアンデッキ)



緑に囲まれた大型ベンチ
(ペDESTリアンデッキ)

(3) イベントなどの賑わい創出空間

社会実験の開始を記念したセレモニーを開催するほか、広島駅周辺地区と連携したイベントも実施します。また、社会実験実施期間において、複数のイベント開催を予定しており、公開空間の多様な利活用方法について検証していきます。

■ TOUCH MATCH HIROSHIMA キックオフセレモニー

日時：令和5（2023）年10月21日（土）9：30～10：00

会場：広島駅北口（新幹線口）ペDESTリアンデッキ

出席：広島市、JR西日本、広島電鉄 他

内容：代表者挨拶、コンセプトスケッチパネルの披露等

■ エキキタまつり 2023 秋

ペDESTリアンデッキ・南北自由通路だけでなく、広島駅構内の北口1F イベントスペース、広島駅周辺地区のエキキターレ、ekie エキキタパークも会場となり、エリア全体で賑わいを創出します。

日 時：令和5（2023）年10月21日（土）～10月22日（日）

内 容：ペDESTリアンデッキ上での屋台営業、ストリートライブの実施、空間装飾等

3. 今後の取組み

本社会実験を通じて、人流の変化や安全性の確認、周辺への影響等について効果を検証するとともに、先進事例の調査等を実施し、公開空間の利活用に関する規制緩和等の新たなルールづくりや、持続可能な管理運営体制の構築に向けた課題を整理していきます。

今後は、現在工事が進む広島駅南口広場再整備の完成時期に合わせた新たなルールの運用開始を目指し、必要に応じて社会実験を継続しながら検証を進めてまいります。

（参考）コンセプトスケッチについて^{（注3）}（1、6 ページ目）

本委員会が目指す未来をコンセプトスケッチで表現しました。

ハード整備が進む広島駅及び駅周辺地区において、公開空間等の利活用により、公共交通の結節点としてはもちろんのこと、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間を目指します。

また、こうした取り組みにより、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の回遊性の向上とともに、中四国地方の中核都市としての機能発揮に貢献してまいります。

（注1）整備が進む広島駅及びその周辺地区における公開空間等の有効活用を図り、公共交通の結節点として、また、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間にしていくことにより、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の回遊性向上とともに、中四国地方の中核都市としての機能の発揮に資することを目的として、相互に連携・協力して取り組むことを3者で合意し、覚書を締結しました。

（注2）社会実験の実施期間は変更になる可能性があります。

（注3）コンセプトスケッチは、本社会実験の取組みを表すものではなく、将来的な公開空間の利活用イメージをスケッチにしたものです。

(参考) 本社会実験の対象エリア及び創出する3つの空間

(1) 沿道店舗などからの
賑わいのしみ出し

(2) ベンチや緑などの
高品質な憩い空間

(3) イベントなどの
賑わい創出空間



(参考) コンセプトスケッチ (ペDESTリアンデッキ・南北自由通路)



ペDESTリアンデッキ



南北自由通路